

Section

2

価値創造の仕組みと
原動力

-
- 31 価値創造プロセス
 - 32 積水ハウスを取り巻く事業環境とリスク・機会
 - 33 経営資源
 - 35 コアコンピタンス
 - 36 ビジネスモデル解説
 - 37 バリューチェーン
 - 39 ステークホルダーエンゲージメント
-

価値創造プロセス

積水ハウスは、企業理念の根本哲学「人間愛」を根幹に、積水ハウスの思想・技術・人財によって多くのイノベーションを起こし、これを積み上げてきました。積水ハウスのあゆみは、創業から30年ずつを1つのフェーズと捉え、第1フェーズを「安全・安心」、第2フェーズを「快適性・環境配慮」、そして第3フェーズを「健康・つながり・学び」の時代であると位置づけることができます。

この積水ハウスのDNAとも言える「人間愛」と、3つのフェーズをベースに、積水ハウスを取り巻く事業環境を機会とリスクと捉え、経営資源を効果的・効率的に活用することにより、ビジネスの拡大・成長を加速しながら、企業価値を創出し、グローバルビジョンの実現を目指していきます。

積水ハウスのグローバルビジョン ▶ P.8

「わが家」を
世界一幸せな場所にする



ハード・ソフト・サービスを
融合し幸せを提案



ESG経営の
リーディングカンパニーに



積水ハウステクノロジーを
世界のデファクトスタンダードに

▶ P.32

積水ハウスを 取り巻く事業環境


▶ P.33-34

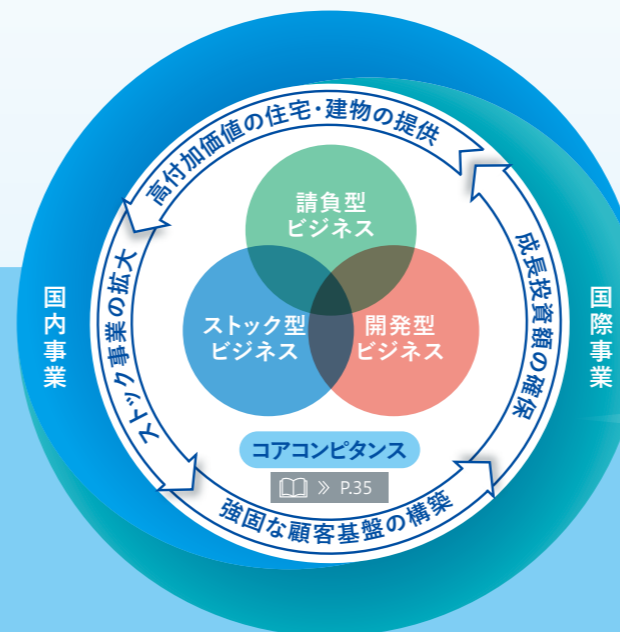
経営資源


▶ P.13/P15-22

マテリアリティ


▶ P.36

ビジネスモデル



事業拡大・
成長を加速

積水ハウスが考える「幸せ」

お客様の幸せ

良質な住宅ストックの形成を目指し、
安全・安心・快適性・美しさの追求により、
お客様に永く住み継いでいただける
価値ある住宅を提供

社会の幸せ

住宅メーカーの社会的使命として、
「人」「まち」「地球」を視点に
事業を通じて持続可能な社会を実現

従業員の幸せ

従業員にとっての「わが家」である
職場の幸せづくりの取り組みを通じて、
ダイバーシティ&インクルージョンの確立と
自律型キャリア人財を育成

創業から積み上げてきた 積水ハウスのコーポレートストーリー

▶ P.9-12

Phase1 安全・安心

Phase2 快適性・環境配慮

Phase3 健康・つながり・学び

企業理念 根本哲学「人間愛」・コーポレートガバナンス

▶ P.6
▶ P.69-82

積水ハウスを取り巻く事業環境とリスク・機会

加速度的に社会状況が変化中、事業を通じて価値を創出するためには、現状の予見可能性をベースとした計画・立案だけでは不十分と考えます。積水ハウスグループでは「持続可能性」を軸に、価値創造に影響をもたらす中長期の課題を分析し、リスク要因を洗い出すとともに、それらを将来の事業創出の機会でもありと位置づけ、中長期の事業戦略立案に反映しています。

メガトレンド

気候変動

- 温暖化の懸念から脱炭素の流れが加速

生物多様性保全

- 温暖化による生物多様性保全への対応
- 水資源の効率的・循環利用の要請

資源循環

- 資源の効率的・循環利用の要請
- 脱プラスチック社会への意識変化

経済・政策の変動

- パンデミックへの対応
- 働き方改革の促進
- 外国人労働者の受け入れ
- ローン控除延長、すまい給付金拡大
- 消費税増税

グローバル化

- 事業のグローバル化の加速
- 訪日外国人の増加
- ホテル客室の絶対数不足

人口動態の変化

- 超高齢社会の到来
- 総人口の減少
- 都市部への人口集中
- ミレニアル世代の社会参加
- 待機児童問題の拡大
- 長寿・多死社会の到来
- 健康意識の高まり

技術革新

- IoT・AI時代の到来
- ロボット技術の進展

具体的なリスクシナリオ

猛暑起因の生活への影響
 猛暑起因の事業(生産・施工現場等)への影響
 激甚化する自然災害による影響
 炭素税の導入によるコストの増加

緑化植物の植生域・適応域の変化
 節水型事業や設備の導入要請

より質の高いリサイクル実現の要請
 化石燃料由来プラスチック廃棄物の処理コスト増

伝染病や感染症の世界的流行
 改革が進まない場合のES(従業員満足)低下、離職
 労働時間規制による労働力の低下
 就労条件悪化による離職、生産性の低下
 住宅取得支援策の打ち切り
 駆け込み需要による反動減、持家離れ

競合の激化
 対応機会損失、情勢変化による需要の変動

住宅内事故、ケア対応不足
 新築着工戸数の減少、管理物件の入居率低下、
 空き家問題の深刻化
 地方の衰退
 ミレニアル世代への対応不足による機会損失
 従業員の職場復帰遅れ
 資産継承の複雑化、トラブル
 健康に関する先進的技術の先取り競争

ビジネス機会の損失、セキュリティ対策の必要性増大
 施工技術伝承の断絶

機会創出の具体例

「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」の普及促進
 「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)」の普及促進
 高耐久な住宅等の普及
 再生可能エネルギーの導入拡大

樹木の効果的配植提案
 節水型住宅設備の普及

高度分別徹底と「広域認定」活用による循環型事業推進

住宅における感染拡大防止の技術開発
 ES向上による生産性向上、優秀な人財の採用
 就労環境整備による良質な労働力の確保
 適切な資金アドバイスによる受注拡大
 政府による住宅購入に関する各種支援策

国際事業の進展
 長期的な需要の獲得

プラチナ事業拡大、健康に配慮した住宅の提供
 良質な住宅の提供
 地方創生のニーズ増大
 デジタルマーケティングの機会拡大
 保育園受注機会の増大、育児サポート制度拡充
 既存住宅流通、不動産管理信託ニーズの増加
 健康に寄与する住宅の拡販

利便性の高い住宅の提供
 施工効率の向上

経営資源



ヒト (人的資本・人的投資)

「人間愛」を根本哲学とする企業理念のもと、「積水ハウスグループ人権方針」を策定・公表するとともに、全従業員が「イノベーション&コミュニケーション」を実践できる職場づくりを目指しています。事業運営においては、法律上要求される国家資格をはじめとする各種資格や技能を有する人財の積極的採用や育成、さらには社内認定制度による従業員のスキルアップを図り、グループ全体での情報連携のもと、これら有資格者の適正配置に努めています。

連結従業員

28,821名

- 営業職：7,153名
- 技術職：8,282名

一級建築士

3,311名

チーフ Konstrukター*

156名

プラチナスペシャリスト*

41名

チーフアーキテクト*

266名

構造計画スペシャリスト*

172名

CSマイスター*

84名

女性管理職

273名

障がい者雇用率(単体)

2.90%



ダイバーシティ&インクルージョン

* 社内資格(産休・育休、職種変更、退職などで対象外となる従業員を除く)



モノ (製造資本／自然資本)

● 製造資本

国内事業においては、請負型ビジネスの邸別生産の要となる製造ラインを所有する生産拠点(工場)と、全国の施工現場に部材を配送する物流拠点を有しています。工場間の部材輸送手段は鉄道モーダルシフトを実施しており、環境負荷の低減を図っています。また、戸建住宅事業、賃貸住宅事業、分譲住宅事業の生産効率向上のため、部材生産設備を中心とした設備投資を行っています。このほか、都市再開発事業における設備投資も実施しています。

設備投資額

895億円

生産拠点

6カ所

国内**5カ所**

海外**1カ所**

物流拠点

40カ所

● 自然資本

持続可能性を考慮したCSR調達に取り組んでいます。フェアウッド調達のほか、輸入材のデュー・ディリジェンス、国産材の地産地消への貢献など、サプライヤーとの共存共栄を図りながら、持続可能性を追求しています。またエネルギー分野においては、オーナー様から太陽光発電の余剰電力を買い取り、自社グループの事業用電力として利用する「積水ハウスオーナーでんき」の取り組みによって、2040年までに「RE100」を100%達成するという当初の目標を大幅に前倒しし、2030年頃に達成する見込みです。このほか、施工現場から出る廃材の100%リサイクルを実現する「資源循環センター」を保有しています。

持続可能な木材調達比率

97.2%

CO₂排出量

8.8万t

廃棄物排出量

102.2万t

- 積水ハウスオーナーでんき
- 資源循環センター

経営資源



資金 (財務資本)

持続的成長を支えるために不可欠である強固な財務基盤を確立し、市場環境を取り巻くさまざまなリスクに備えるとともに、機動的かつ柔軟な投資判断を下せる財務的余力を常に確保しておく必要があります。財務健全性の評価基準、適正な財務レバレッジの水準として、格付の維持を前提にD/Eレシオ0.45倍以下を目標としています。資本コスト・資産効率を意識してバランスシートの改善にも努め、成長投資の推進と資産効率の向上を図ります。

D/Eレシオ
0.37倍

フリー・キャッシュ・フロー
43億円

不動産投資額

1兆1,613億円 / **1兆8,900**億円
(61.4%進捗) (第5次中期経営計画期間中)

有利子負債

5,498億円



知的・社会資産 (知的資本／社会・関係資本)

● 知的資本

住宅に関連する最先端の技術開発や人間工学実験をもとにしたユニバーサルデザインの研究・開発活動の拠点となる「総合住宅研究所」、日本初の幸せ研究所である「住生活研究所」などを保有し、先進の研究施設でさまざまな開発を行っています。また、積水ハウスの商品技術、研究開発、デザインなどに関わる知的財産権である特許権や意匠権についても多数保有・管理しています。

研究開発費
94億円

特許権保有件数
716件

意匠権保有件数
343件

● 総合住宅研究所 ● 住生活研究所

[総合住宅研究所](#)

[住生活研究所](#)

● 社会・関係資本

業界一の累積建築戸数を誇る強固な顧客基盤と、それを実現する施工力は、積水ハウスグループと社会をつなぐ重要な要素であり、コアコンピタンスとして位置づけています。オーナー様との長期リレーションシップが築ける要因の一つに、お引渡し後のカスタマーズセンターによるアフターサービスの体制整備があります。また施工面においては、当社グループ内に施工会社を有する「責任施工体制」を構築しており、協力工事店を含め、創業以来「運命協同体」という精神が共有されています。

累積建築戸数
254万戸

積水ハウスの本体工事に関わる
協力工事店数
約**2,650**社

コアコンピタンス

積水ハウステクノロジーを駆使した「技術力」と「施工力」、業界一の累積建築戸数を誇る強固な「顧客基盤」の3つの強みと、商品・技術開発から、営業、設計、施工、アフターサービスまで、住まいづくりに関わるすべてのプロセスを積水ハウスグループが担うことで、お客様の価値を最大化する独自のバリューチェーンをコアコンピタンスとして価値創造の源泉と位置づけています。



技術力

- 「いつも今が快適」をカタチにしたユニバーサルデザイン
- 「安全・安心」を実証するシーカス、エアキスなどのオリジナル技術
- 「グリーンファースト ゼロ」をはじめとする環境技術
- ダインコンクリート、ベルバーンというオリジナル外壁製造技術
- 一級建築士、二級建築士をはじめとする多数のさまざまな資格保有者
- 社内認定制度(チーフアーキテクトなど)導入によるスキルアップと提案力向上



施工力

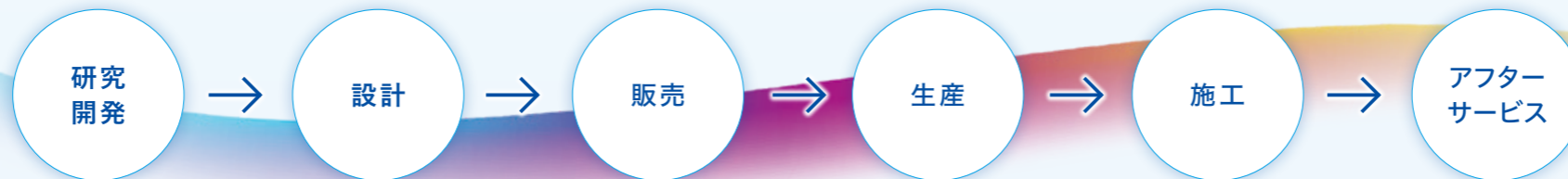
- 積和建設各社を100%子会社に持つ「責任施工体制」の導入
- 「積水ハウス会」によるロイヤリティの高い施工協力体制
- 「型式認定取得」による工期短縮の実現
- 社内認定制度(チーフコンストラクターなど)導入によるスキルアップと提案力向上



顧客基盤

- 業界一を誇る累積建築戸数254万戸のオーナー様
- お引渡し後も安心のカスタマーズセンターの設置によるアフターサービス体制
- 積水ハウス不動産各社による賃貸住宅オーナー様との長期リレーションシップ
- オーナー様からのご紹介やリピートの高さ

グループ連携による相乗効果でお客様への価値を最大化



コアコンピタンスの進化と拡張

新技術



Open Innovation

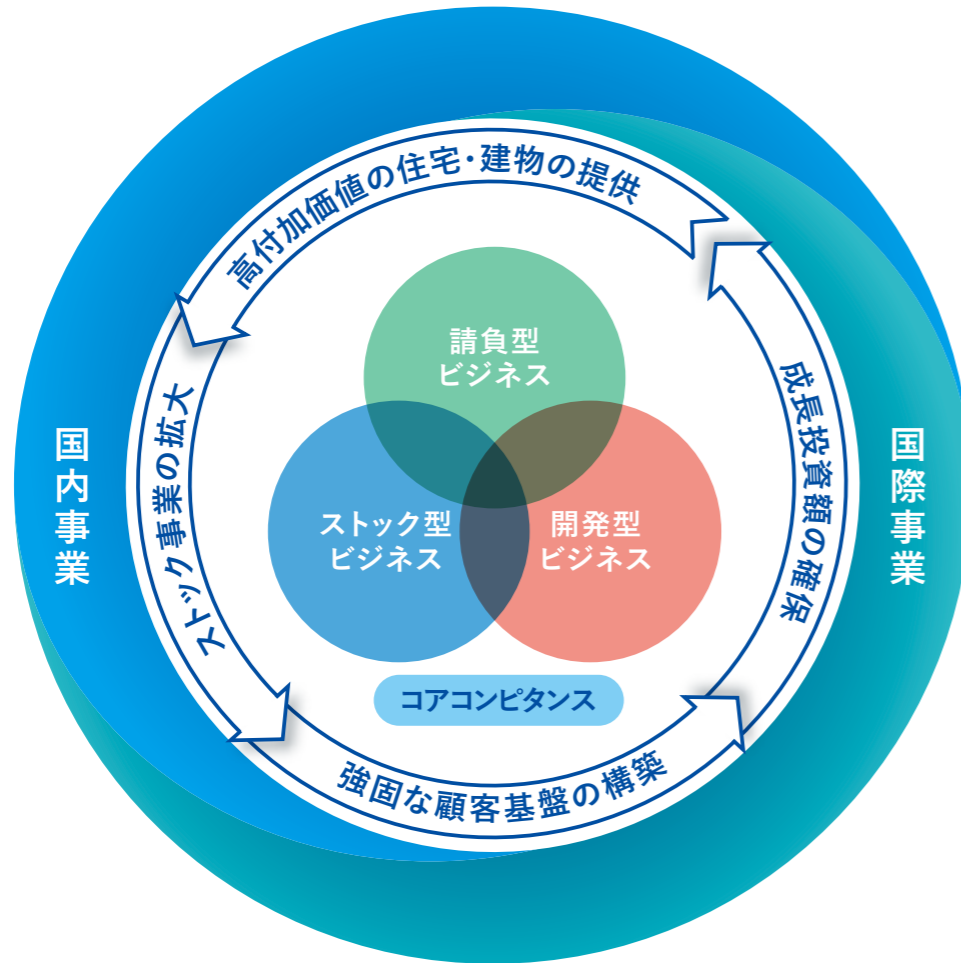
産学連携
共同開発

ベンチャー
投資

アライアンス
(業務提携)

M&A

ビジネスモデル解説



積水ハウスは、経営基盤であるESGの取り組みと、独自のバリューチェーンおよびコアコンピタンスを有しており、積水ハウスグループが連携することで、さまざまなステークホルダーに事業価値を創造するビジネスモデルを構築しています。

国内事業においては3つのビジネスモデルがあります。高付加価値の住宅・建物を提供し、強固な顧客基盤を構築する「請負型ビジネス」。この顧客基盤を活かしてリフォームや賃貸住宅管理などのビジネスを展開する「ストック型ビジネス」。これらのビジネスから得た利益は、良質な都市再開発や美しく住み心地の良いまちづくりを行う「開発型ビジネス」に投資する。そして、将来の成長投資とあわせて、持続可能な価値創造プロセスを構築しています。今後は、国際事業においても、「請負型ビジネス」のさらなる拡充により国内同様のビジネスモデルを確立させます。

積水ハウスグループはグローバル企業への発展を目指し、持続的成長を着実に遂げていきます。2010年以降、請負型ビジネス偏重型から事業ポートフォリオの最適バランスへの変革による成長を続けてきました。蓄積した良質なストックを活用したストック型ビジネスの成長を加速させるとともに、開発型ビジネスの資産回転率を高めるなど、より強い3つの柱を基盤とした事業成長を実現していきます。

〈国内事業・国際事業で展開するビジネス〉

請負型ビジネス

高付加価値の住宅・建物を提供し、強固な顧客基盤を構築

ストック型ビジネス

請負型ビジネスの顧客基盤を活かして、リフォームや賃貸住宅管理などのビジネスを展開

開発型ビジネス

請負型ビジネスとストック型ビジネスから得た利益を、良質な都市再開発や美しく住み心地の良いまちづくりに投資

バリューチェーン

積水ハウスグループは、住まい手にとって重要な基本性能や環境技術を絶えず進化させながら、新しい暮らし方の研究や提案を組み合わせることで、幸せな住まいの実現を目指しています。その価値創造の源泉となるのが積水ハウスならではのバリューチェーンです。

▶詳細はSection6もあわせてご覧ください。

📖 P.102-127 環境 📖 P.128-162 社会

概要

研究開発

人生100年時代へ住まい手価値の創出を目指し、安全・安心や快適、健康を追求する先進の技術開発から、幸せな暮らしやサービスの提案に向けた調査研究まで、「住」を基軸としたハード・ソフト・サービスについてのさまざまな研究開発を行っています。

強み・差別化ポイント

- 1990年、世界最大規模の「総合住宅研究所」を開設
- 2018年、日本初“幸せ”を研究する「住生活研究所」を開設
- 業界随一の膨大な「住」に関するデータやノウハウを活用した研究開発
- 体験型研究施設「納得工房」での生活者視点研究

リスク・機会

- 技術革新への対応不足によるビジネス機会の損失
- 気候変動による自然災害の激甚化

強化施策

- 住宅における災害対応に向けた研究開発
- 住宅の長寿命化に向けた研究開発
- 営業・技術・生産部門などとの共創に基づく研究開発
- 企業や教育機関等との情報受発信や研究開発

商品開発・設計・技術

「最高の品質と技術」を追求し、お客様のニーズに合った商品を絶えず他社に先駆けて開発することを使命としています。その使命のもと生み出した商品は、高度な設計提案力により「邸別自由設計」され、想いのつまった住まいを実現します。

- 時代を先取りし、他社の追随を許さないさまざまなオリジナル技術
- 3,311名の一級建築士
- トップクリエイター集団「チーフアーキテクト」制度による優れた社内建築家育成の仕組み

- ライフスタイルの変化や価値観の多様化
- 住宅に求められる性能の多様化（環境対応、自然災害対応、感染症対応など）

- ハード・ソフト・サービスの融合によるライフスタイルの変化に対応する住まいづくり
- レジリエンス性の向上や可変性のある住まいづくり
- 機会を逃さないスピード感ある商品開発

営業

お客様接点の最前線である営業は、企業理念の根本哲学である「人間愛」をベースに、お客様にしっかりと寄り添い理想の住まいに向けた価値提案を行います。未来まで続く、お客様との固い信頼関係の構築を目指します。

- 積み上げてきた信頼と実績
- 「人間愛」に基づくお客様に寄り添う姿勢
- 潜在的なニーズまでを汲み取り、将来にわたって幸せに暮らせる住まいを提案するコンサルティング力
- 個人だけでなく、法人・公共向け事業にも対応できる提案力

- 競争環境の激化
- 住宅政策の転換や、住宅取得支援策の変更・打ち切り

- 長期優良住宅の推進
- お客様だけでなく、地域社会にも価値ある資産づくりのご提案
- 積水ハウスグループの連携強化による事業機会の確実な獲得
- 女性営業職の活躍推進



バリューチェーン

概要

調達

1棟の住宅を建てるには数万点の部材が必要です。当社では、「CSR調達ガイドライン」に基づいて、多様なサプライヤーと協働し、持続可能な調達を推進しています。

強み・差別化ポイント

- サプライヤーとの共存・共栄のもとに構築してきた強固なサプライチェーン
 - 国連グローバル・コンパクト*への署名を踏まえたCSR調達
 - 「木材調達ガイドライン」に基づくフェアウッド調達
- * 各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって社会の一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み

リスク・機会

- 原材料の価格高騰や供給制約
- 自然災害や感染症拡大による影響
- サプライチェーンにおける人権リスク
- 木材調達における生態系や森林への影響

強化施策

- 調達先の多様化と、サプライヤーとの強固な信頼関係の構築
- サプライヤーとの共存・共栄を目指すCSR調達の強化と推進
- サプライヤーの脱炭素化推進と、フェアウッド調達の深化

生産

生産から出荷までの工程においても邸別に管理する独自の生産体制を確立。工業化による高度な品質管理体制のもと、一邸一邸、変わらぬ高品質を約束します。

- AI、IoT、ビッグデータ解析などの最先端情報技術とロボット技術の活用による、強固な生産・品質管理体制
- 邸別生産を可能にする柔軟な生産ラインと物流体制
- チャレンジ精神と向上心を持った技術者集団による、生産技術の自社開発

- 原材料の価格高騰や供給制約
- 物流コストの上昇およびドライバー不足
- 生産ライン現場作業従事者の労働力不足
- 脱炭素化

- 先進的技術のさらなる活用による品質管理強化と、生産・物流改革の推進
- 自動化推進による生産合理化と、働きやすい職場環境づくり
- 原材料リサイクル、省エネルギー、エネルギー転換などによる脱炭素化推進

施工

完全子会社の積和建設各社と、協力工事店からなる「積水ハウス会」による「責任施工体制」を構築し、優れた施工体制・施工品質・施工環境、施工技術の開発などを推進しています。

- 「運命協同体」の精神で結束する積和建設15社と施工協力会社約7,000社の施工力
- 施工品質管理、継続的な改善、記録の管理・保存を目的とした「全社施工品質管理システム」
- 全国3カ所の教育訓練センターと、ベトナムの技術訓練施設を通じた将来を担う優秀な人材育成

- 施工技能者の高齢化等による施工力低下
- 現場労働環境改善の遅れに伴う施工技能者の入職減や離職増等による人材不足
- 自然環境の悪化による生産性低下
- 労働災害

- より安全で幸せな施工現場実現に向けた、作業効率や施工環境改善の推進
- 多角的な視野を備えた人材採用と育成
- 在来建築や土木事業に強みを持つ鴻池組との連携強化

カスタマーサービス

いつまでも快適に暮らしていただくための適切なアフターサービスも住宅本来の価値と位置づけ、「初期30年保証制度」や「ユートラスシステム」など、長期にわたるサポート体制でいつまでも続く安心をご提供しています。

- お客様に感動をもたらすカスタマーサービス精神
- 約1,500人の専任者による充実のアフターサービス体制
- 新築時からのメンテナンス情報を一元管理する情報システム

- 対応の遅れなどによる顧客満足度の低下
- お客様情報などの情報漏洩リスク

- オーナー様との良好な信頼関係の構築
- 24時間365日の電話受付や、AIチャットボットなどを活用した対応力強化
- 積水ハウス ノイエなど、積水ハウスグループへの対応強化
- 情報管理体制・対応強化



ステークホルダーエンゲージメント

積水ハウスグループは、「お客様（オーナー様）」「消費者（潜在顧客）」「取引先」「従業員」「株主・投資家」「地域社会」などのステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを通じて、さまざまな課題や期待を認識し、それらに真摯に応じていくことで、積水ハウスならではの価値創出に取り組めます。

主なステークホルダー	果たすべき責任	主なエンゲージメント例	取り組みによる成果	
お客様 (オーナー様)	大切な資産が永く愛着を持って活かされるように、お客様第一の姿勢を貫き、コミュニケーションを大切にします。	<ul style="list-style-type: none"> お客様アンケート実施 コミュニケーションツールとして情報誌発行 <ul style="list-style-type: none"> 「きずな」(戸建住宅・年2回) 「Maisowner」(賃貸住宅・年2回) 「gm」(マンション・年3回) 	<ul style="list-style-type: none"> 「Netオーナーズクラブ」運営 オーナーデスク オーナー様向け生活サービス紹介サイト「スイート コンシェル」 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の長寿命化 お客様満足度の向上 アフターサポートの充実 良質な住宅ストックの形成
消費者 (潜在顧客)	「人間性豊かな住まいと環境の創造」に向けて、信頼関係を築けるよう、積極的に情報開示を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 総合住宅研究所「納得工房」 「Tomorrow's Life Museum」 「積水ハウス エコ・ファースト パーク」 	<ul style="list-style-type: none"> 「SUMUFUMU TERRACE」 「すまい塾」 生活リテラシーブックなどを活用したダイアログの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品・新技術開発強化 「住」関連情報のビッグデータの蓄積
取引先 パートナー	お客様満足の実現を通じて共に発展していくために、公正で対等な取引に努め、温かい共存関係を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> 「積水ハウス会」「セキスイハウス協会の組織化 「年度活動方針説明会」開催 	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達 (CSR調達ガイドライン) 「調達先評価」実施 	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい施工現場環境の構築 (施工合理化、施工平準化) 持続可能で強靱なサプライチェーンの構築
従業員	従業員が個々の能力を活かせるよう、一人ひとりの多様な個性を尊重します。価値ある仕事を通じて公正かつチャレンジ精神を育み、自立的にキャリアを重ねられるよう、健康で幸せな職場環境・制度を整備し、ES (従業員満足) の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ESG対話 ヒューマンリレーション研修 (年1回) コンプライアンス研修 幸せ度調査 	<ul style="list-style-type: none"> 「積水ハウス ウィメンズ カレッジ」 キャリア面談 WEB社内報「ひと」 創発型表彰制度「SHIP」 幸せ健康経営「チャレンジ6」 	<ul style="list-style-type: none"> 女性をはじめとする多様な人財の活躍 人財の育成・開発 労働安全衛生 (パンデミック対応を含む) 従業員幸せ度の維持・向上 イノベーション創出
株主・投資家	健全な成長による企業価値の向上と株主・投資家の皆様への利益還元のために、社会的価値の高い企業であり続けることを目指し、公正で透明性の高い企業経営を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 決算発表・経営計画説明会 機関投資家・アナリストとのミーティング 株主総会 Value Report (統合報告書、サステナビリティレポート) ※TCFDレポートパートを含む 	<ul style="list-style-type: none"> 「ビジネスレポート」(年2回) IRニュースメール配信 株主様工場見学会 	<ul style="list-style-type: none"> 株主様への利益還元 情報開示の充実 株主・投資家との積極的な対話を通じた信頼関係構築
地域社会	地球環境を守りつつ、すべての人が人間らしい豊かな暮らしを実現できるよう、地域の文化と豊かさを育み、住宅企業らしさを活かして、社会還元、協力と参画に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 従業員と会社の共同寄付制度「積水ハウス マッチングプログラム」 NPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫、NPO法人キッズデザイン協議会などNPO法人への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」 SDGs研修、事例発表 小学生へのプログラミング教育 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な暮らし 防犯・防災につながるまちづくり 次世代育成 (キッズ・ファースト) 被災者や障がい者の自立支援 ダイバーシティ社会への貢献 地方創生 地域社会との共生 社会貢献活動 (災害初動対応・復旧復興支援を含む)

ステークホルダーエンゲージメント

従業員エンゲージメント ～幸せづくりのパートナーを目指して～

「幸せづくりのパートナー」として新たな価値を提供し続けるために、積水ハウスグループの従業員一人ひとりの幸せに寄り添い「幸せ度」を高めることで、お客様の幸せ、そして社会の幸せにつなげていきます。

「幸せづくりのパートナー」となるためには、まずは「従業員の幸せ」から

「幸せづくりのパートナー」として、お客様や社会に新たな価値を提供し続けるためには、まずは従業員が働きがいを感じ、いきいきと幸せに働くことができる環境づくりが大切です。“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンを実現していくうえでも、事業活動を根幹で支える従業員が幸せであることが重要であり、それがお客様、そして社会の幸せにつながっていくものと考えています。そのため、積水ハウスグループでは、従業員の幸せの追求における「従業員エンゲージメント（企業に対する従業員の想い）の向上」を重要な責任として捉え、従業員が多様性を尊重し活かし合いながら、一人ひとりが能力を発揮し、仕事を通じて価値を創造し成長していけるよう、公正かつチャレンジ精神を育む職場環境・制度の整備や企業文化の醸成に力を注いでいます。

従業員の幸せを願うメッセージとしての「幸せ度調査」

一般に、従業員が幸せに働くことで高いパフォーマンスを発揮することができ、コミュニケーションが活性化してイノベーションが生まれやすくなるともいわれています。一方、当社が考える従業員の「幸せ度」とは、福利厚生や職場環境といった衛生要因を満たす、部分的な充足を測る指標としての「満足度」だけでなく、働きがいや自己成長など、主観的で仕事とプライベートを含む人生全体の指標です。

こうした点を踏まえ、積水ハウスグループでは2020年から全従業員を対象とした個人と職場の幸せの相関を分

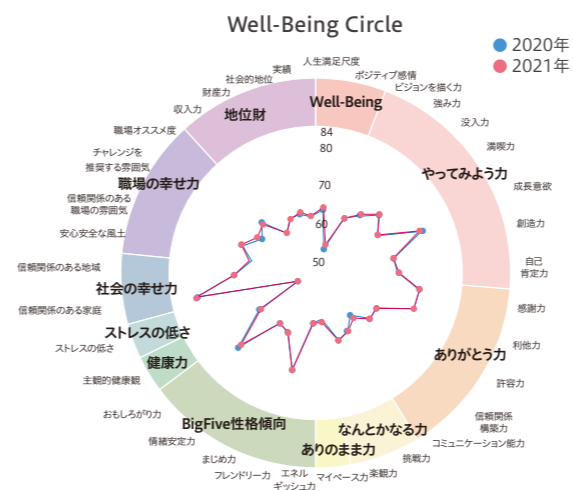
慶應義塾大学大学院 前野隆司教授が提唱する「幸せを構成する4つの因子」



- ①「やってみよう！」因子（自己実現と成長）
- ②「ありがとう！」因子（つながりと感謝）
- ③「なんとかなる！」因子（前向きと楽観）
- ④「ありのままに！」因子（独立と自分らしさ）

積水ハウスグループは
「ありがとう！」因子が高く、
企業理念が浸透している
結果と考えられる

従業員の多面的な幸せを診断する「幸せ度調査」



ESG対話、キャリア面談や創発型表彰制度「SHIP」などの取り組みにより、チャレンジを推奨する風土、周りから好ましい評価を受けていると実感している項目などが伸長しています。

